



平成30年上半期 大分税関支署管内貿易概況

平成30年8月14日
門司税関 大分税関支署

県全体の貿易額

輸出額は4,157.6億円、前年同期比14.7%増、3期連続のプラス
映像機器、銅及び同合金、事務用機器、鉄鋼などが増加
有機化合物、船舶類などが減少

輸入額は6,068.6億円、前年同期比11.9%増、3期連続のプラス
原油及び粗油、銅鉱、液化天然ガスなどが増加
揮発油、石炭などが減少

主要品目

(単位：百万円、%)

輸出	価額	前年同期比	構成比	輸入	価額	前年同期比	構成比
鉄鋼	118,762	108.9	28.6	銅鉱	158,795	129.5	26.2
有機化合物	36,804	70.4	8.9	石炭	89,222	88.4	14.7
事務用機器	61,938	121.1	14.9	鉄鉱石	92,777	94.0	15.3
銅及び同合金	65,257	137.1	15.7	原油及び粗油	103,488	179.6	17.1
船舶類	33,247	85.3	8.0	液化天然ガス	68,102	120.2	11.2
映像機器	63,460	366.1	15.3	揮発油	31,690	66.9	5.2

港（通関官署）別の状況

大分) 輸出は3,835.3億円、前年同期比17.4%増。映像機器、銅及び同合金などが増加
輸入は6,002.9億円、前年同期比11.8%増。原油及び粗油、銅鉱などが増加

佐伯) 輸出は99.7億円、前年同期比28.3%減。船舶類などが減少
輸入は28.8億円、前年同期比64.8%増。船舶類、魚介類などが増加

津久見) 輸出は222.6億円、前年同期比1.5%増。船舶類が増加
輸入は36.9億円、前年同期比2.9%減。石油コークス、アルコール飲料などが減少

大分) 輸出は全減。再輸出品が全減。

空港) 輸入は414千円、前年同期比91.3%減。輸送用機器が全減、荷役機械が減少

港名（通関官署）

(単位：百万円、%)

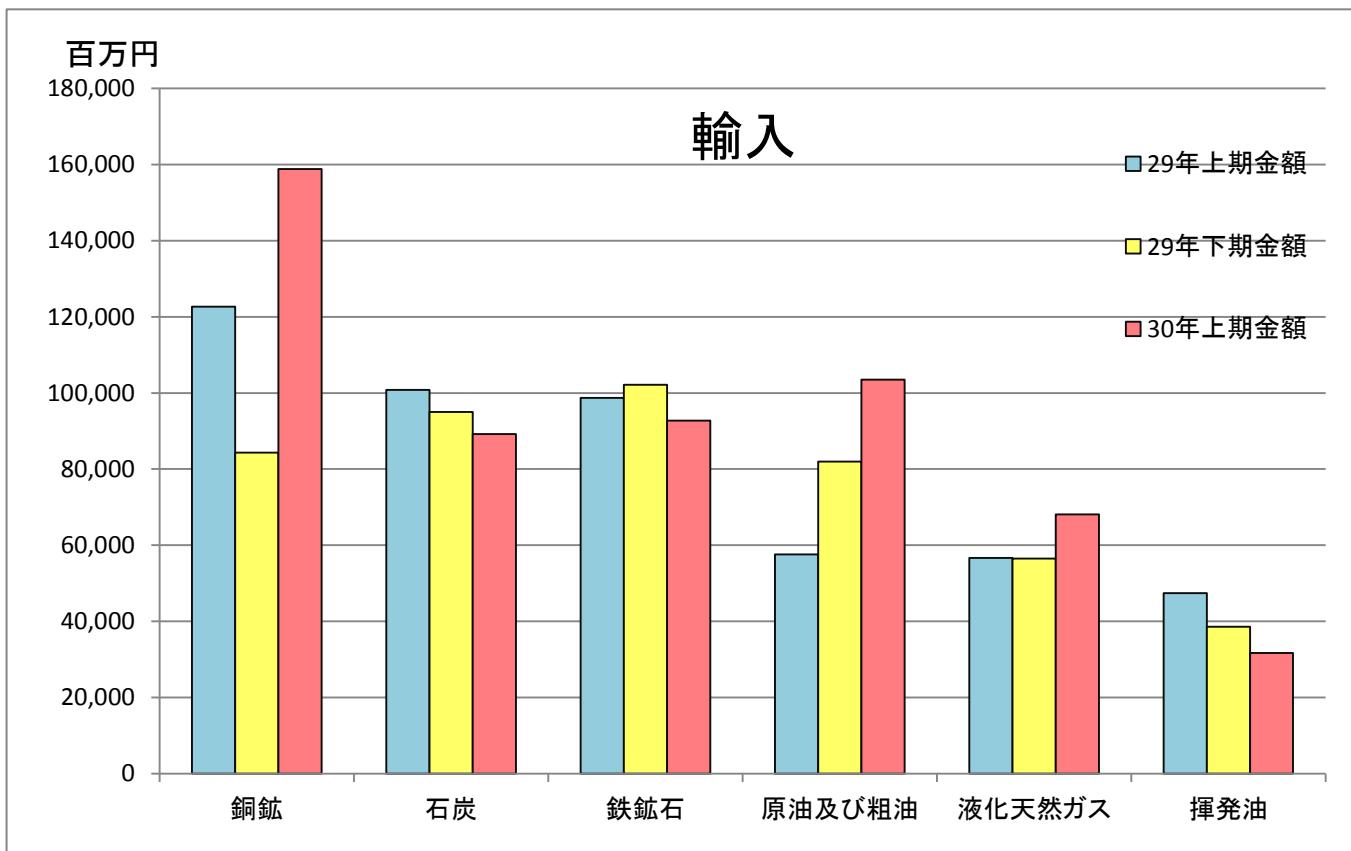
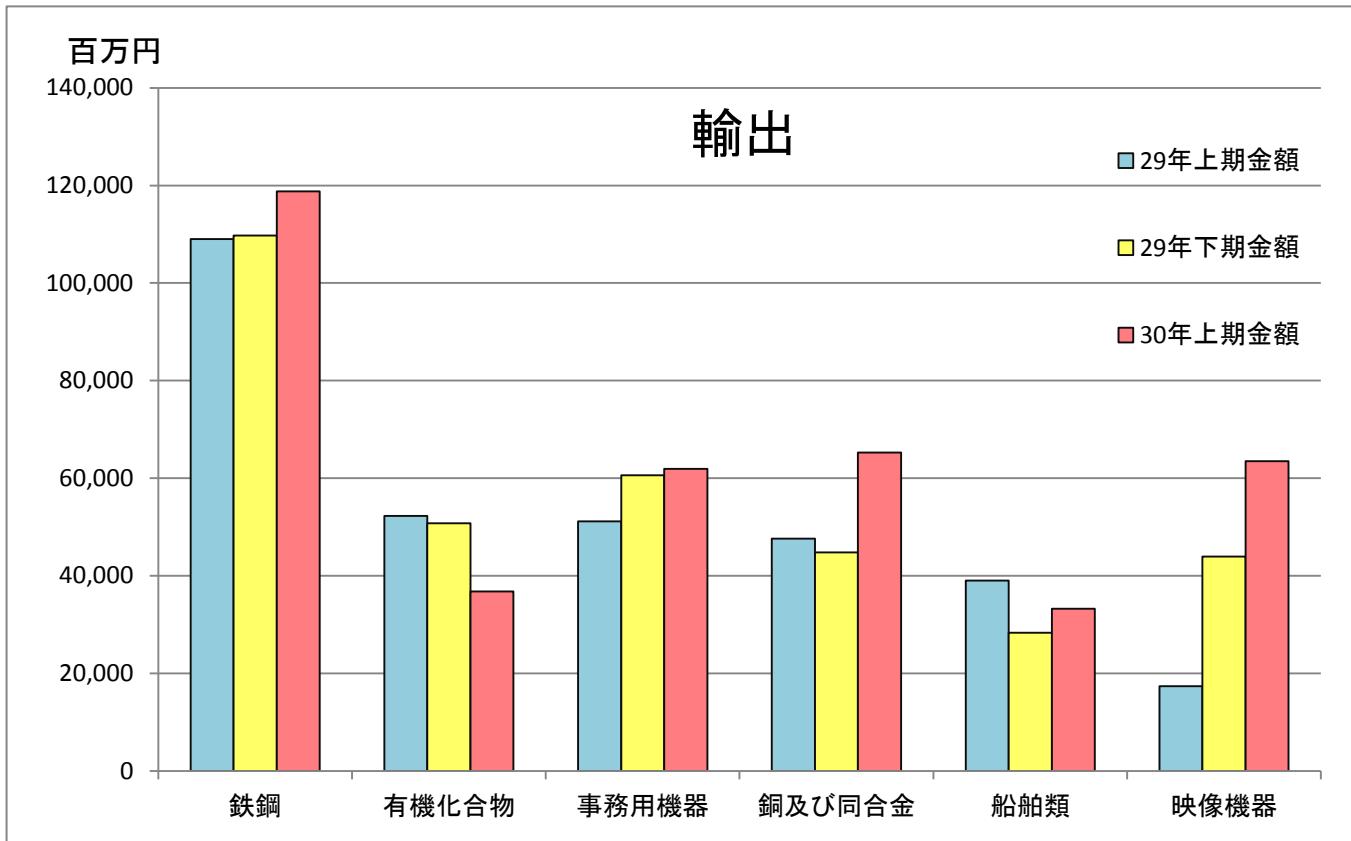
区分	輸出			輸入			差引額	
	価額	前年同期比		価額	前年同期比		出・入超	価額
大分(大分)	383,529	117.4	3期連続のプラス	600,292	111.8	3期連続のプラス	入超	216,763
佐伯(佐伯)	9,973	71.7	2期連続のマイナス	2,885	164.8	3期連続のプラス	出超	7,088
津久見(津久見)	22,262	101.5	3期連続のプラス	3,686	97.1	2期ぶりのマイナス	出超	18,576
大分空港(大分空港)	-	全減	2期連続のマイナス	0	8.7	2期連続のマイナス	入超	0
大分県	415,764	114.7	3期連続のプラス	606,863	111.9	3期連続のプラス	入超	191,099

※ 港別貿易額は、各官署の通関額合計による。また、大分の実績には佐賀関港・中津港の実績を含む。

※ 大分県の価額欄は、各港毎の千円単位までの合計数値から四捨五入で算出。

※ 輸出は確報値、輸入は9桁速報値による。

品目別の状況



この内容を引用されるときは、大分税関支署発表によると付記してください。

本資料に関する問合せ先：大分税関支署 管理課

シロイ クロイ

★ 密輸ダイヤル(24時間受付)【0120-461-961】

TEL 050-3539-3300

FAX 097-524-0067

ホームページアドレス <http://www.customs.go.jp/moji/>

YouTube 税関チャンネル <http://www.youtube.com/user/mof>